

学習課題（小学校3年生）



【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

<勉強すること>

◆「まいごのかぎ」（教科書65～81 ページ）にとりくみます。ここでは、登場人物がどのように変わっていくのか、様子や気持ちを表す言葉に気をつけて読みましょう。

- ①教科書 66～81 ページを音読します。「まいごのかぎ」とはどんなかぎなのか考えながら音読しましょう。
- ②この物語を読んで、おもしろかったところ、すきなところ、不思議なところなどをノートや取組シートに書いてみましょう。

【書き方のれい】この物語を初めて読んで、ふしぎなことがたくさん起きる話だなと思いました。とくにふしぎだと思ったところは、木のねもとにかぎあながあったことです。なぜかという、私は今まで木にかぎあながあいているところを見たことがないからです。もっと読んでくわしく知りたかったです。

- ③この物語では、ふしぎな出来事がいくつでてきますか。
- ④場所と出来事に気を付けて5つの場面に分けます。それぞれの場面の一番さいしょの文の上に①、②のように番号をつけましょう。

| | | | | |
|---|----------|--------|--------------|-------|
| ① | 鍵を見つけた場面 | 66 ページ | 1 行目～68 ページ | 10 行目 |
| ② | 桜の木の場面 | 68 ページ | 11 行目～71 ページ | 6 行目 |
| ③ | 公園の場面 | 71 ページ | 7 行目～73 ページ | 10 行目 |
| ④ | お魚の場面 | 73 ページ | 11 行目～75 ページ | 10 行目 |
| ⑤ | バスの場面 | 75 ページ | 11 行目～80 ページ | 12 行目 |

◆84 ページで学習する新出漢字（向～路まで）を練習します。

- ①155 ページを見て、書き順を指で書いてみましょう。
- ②読み方・使い方を声に出して、言ってみましょう。
- ③ノートや取組シートに漢字を練習します。
- ④学習した漢字をつかって、文をつかって練習します。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・この物語では、様子や気持ちを表す言葉に着目しながら、文章を手がかりにして、変化したことやその理由を考えることができた時は、大いに認めてあげてください。
- ・初めて読んだ後の感想を書くときは、「いつも読んでいる物語とどんなところが違う？」 「不思議な所はあった？」など、ファンタジーならではの面白さに気付かせてあげてください。



【社会】

＜勉強すること＞「市のとく色やよさ」「アイヌ語の地名」

◆「市のとく色やよさをまとめよう」（教科書30～31ページ）や地図帳、学校で使っているしりょうなどをさんこうに、札幌市のとく色やよさについて、ノートやとりくみシートにまとめましょう。

(1) これまで学習してきたことをもとにして、札幌市のとく色やよさについて「じまんできるところ」を下の□から2つえらんで、それぞれ文しょうで書きましょう。

※教科書31ページの「じまん」をさんこうにしよう。

- 土地の高さや広がり
- 土地の使われ方
- 交通の様子
- 公共しせつ
- 古くからのこるたて物

じまん 1 土地の使われ方

土地の使われ方がいろいろ

市の南がわや西がわは高い土地が多く、スキー場などがある。さっぽろえきのまわりは、人が集まるしせつやお店が多い。

◆北海道には、昔から住んでいるアイヌ民族のことばであるアイヌ語がもとになっている地名がたくさんあります。

(1) アイヌ語では、「川」のことを「ベツ」と言います。この音に読み方がにている「別」という漢字をつかう地名は、アイヌ語がもとになっています。地図帳27～28ページ、69～70ページから「別」のつく地名を2つさがしてみよう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・住んでいて札幌のよいところはどこか、観光客は何を見に来るかなど聞いてみると、様々な立場から札幌のよさを捉えることができます。
- ・札幌や豊平、厚別など札幌市内にも、アイヌ語がもとになっている地名がたくさんあることを伝えるとアイヌ語の地名に対する興味を高めることができます。

【札幌のアイヌ語地名（現在の地名…アイヌ語…意味）】

- ◇札幌…サツポロベツ…乾く・大きい・川
- ◇豊平…トウイエピラ…崩れる崖
- ◇厚別…ハシベツ…雑樹・川
- ◇琴似…コツネイ…凹地・になっている・もの
- ◇手稲…テイネニタツ…濡れている・湿地
- ◇苗穂…ナイボ…小さい川
- ◇平岸…ピラケシ…崖の端
- ◇茨戸…パラト…広い・沼
- ◇簾舞…ニセイオマブ…絶壁のある所 など

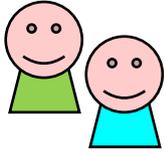
出典「アイヌ語地名リスト」（北海道環境生活部）

【算数】

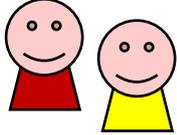
＜勉強すること＞◆「3 たし算とひき算」（教科書 39～40 ページ）

空きかんを集めてリサイクルをするよ。

青空子ども会

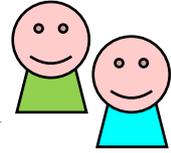


どんぐり子ども会



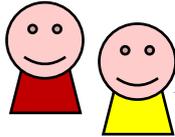
わたしたちみんなで
352こ集めたよ。

青空子ども会



ぼくたちだけで
214こ集めたよ。

どんぐり子ども会

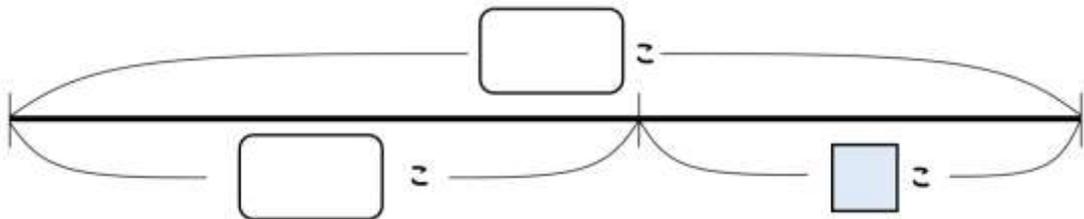


わたしたちだけで何こ集めたのかな？

＜かだい＞

青空子ども会とどんぐり子ども会で、空きかんを352こ集めました。
そのうち、青空子ども会で集めた数は214こでした。
どんぐり子ども会で集めた数は何こでしょうか。

に入る数を書いて、図をかんせいさせよう。



図をつかって、式を立てよう。

式

※今もとめたいのは、
□のところだよ。



あれ？3けたどうしのひき算も、これまでのひき算と
同じように計算できるのかな？

答えの見つもりをしよう。

見つもり

※352を300、214を200とすると、
答えは100こより多いかな？少ないかな？

352 - 214がいくつになるのかを考えよう。

数を分けて考えてみよう。

352 - 214

300 52

いくつかな？

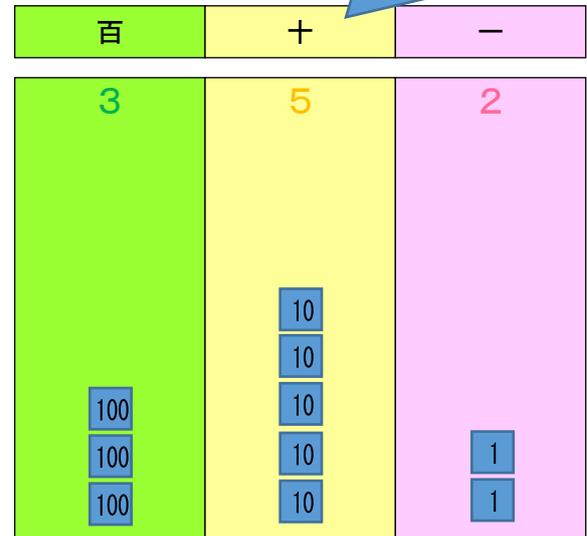
300
- 200

□

□

□

どんぐり子どもの会の分を表してみよう。



※合わせると…

※214を
とった残りは…

くり下がっていること
を筆算にも書こう！

352 - 214 = □

筆算のしかたをまとめよう

$$\begin{array}{r} 412 \\ 352 \\ -214 \\ \hline 8 \end{array}$$

12 - 4 = 8

□ の位をひく

$$\begin{array}{r} 4 \\ 352 \\ -214 \\ \hline 38 \end{array}$$

4 - 1 = 3

□ の位をひく

$$\begin{array}{r} 352 \\ -214 \\ \hline 138 \end{array}$$

3 - 2 = 1

□ の位をひく

学習して分かったことや見つけたこと、おもしろい!と思ったことなどを書こう。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆たし算とひき算（教科書 P39～40）

- ・「3けた-3けた」に初めてふれる場面です。「前と同じだ!」や「ここはちがうね。」など、これまでの学習と結び付けながら考えていたら、素晴らしいです。
- ・誤答は、繰り下がったことを書かないときに多く見られます。

【理科】

＜勉強すること＞

◆「成虫のからだのつくり」（教科書 33～34 ページ）を見て、チョウのからだのつくりについて考えましょう。

①チョウの成虫のからだは、どのようなつくりをしているのでしょうか。教科書 34 ページのモンシロチョウの成虫の絵を見て、取組シートやノートにかきましょう。また、よう虫とくらべて気付いたことを取組シートやノートに書きましょう。

※色、形はどうか。

※モンシロチョウのよう虫とくらべてなにがちがうかな。

※からだにはどんな部分があるかな。



【動画を参考にみるのもよいでしょう】

NHK for School「モンシロチョウの体」

http://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005300306_00000&p=box

②モンシロチョウの成虫と教科書 34 ページのアゲハの成虫をくらべて、気付いたことを取組シートやノートに書きましょう。

※モンシロチョウとアゲハの成虫の同じところやちがうところはどこかな。

※モンシロチョウやアゲハの成虫のからだは、どんな部分からできているかな。



【動画を参考にみるのもよいでしょう】

NHK for School「アゲハチョウ～よう虫からせい虫へ～」

http://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005401009_00000&p=box

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- この学習では、モンシロチョウの成虫をモンシロチョウの幼虫やアゲハの成虫とくらべながら、こん虫の体のつくりの共通点や違いに気付くことを大切にしています。
- 「モンシロチョウの成虫と幼虫をくらべて違うところはどこかな。」「モンシロチョウとアゲハの同じところはどこかな。」などと比べながら、似ているところや違うところを見付けられるように声をかけてあげてください。